

総合的な読解力・表現力の育成 ～学習材として新聞の教材化を図る～

那覇市立小祿南小学校
校長 山城 銀子
教諭 奥間 ナリ子

1. はじめに

本校は平成22年度より国語科を研究教科に取り上げ、研究主題を「読みの力を活用する児童を育む国語科授業の実践～説明文の読みを通して～」とし、その読みの力を活用させる一手段として NIE 実践を全学年で取り組んできた。今年度は、2年間の研究の成果として、28学級で NIE の授業を公開し、研究発表を行った。

各学年では、この2年間、国語科を中心に研究を進めてきたが、本来 NIE はさまざまな教科・領域で取り組める活動であり、国語科だけでなく、他教科との関連も考えて実践を行ってきた。年度初めに本校独自の NIE 年間指導計画を作成し、必要に応じて追加修正を行いながら実践を重ねた。

その結果、11月の NIE 実践フォーラムでは、国語科だけでなく他教科においても、総合的な読解力・表現力の育成を意識した新聞の教材化を図った NIE 実践発表を行うことができた。

実践の概要は、下記の通りである。

2. 実践の概要

二年前、本校において「NIE」と聞いたことがあっても具体的な内容までは知らない教師がほとんどであった。そこで、NIE について教師自身が学ぶということから本校の NIE はスタートした。NIE に関する資料を NIE 資料センターからいただいたり、各新聞社のホームページから NIE 情報を得たりして資料収集を行い、教員間で共通理解を図った。また、NIE 公認アドバイザーの兼松力先生による NIE 研修で理論・実践方法を学び、22年度後半より「できるところから NIE を」として各学年で取り組みを始めた。

1年目の実践内容は、以下の通りである。

- 1年：国語 「かたかなのなかまわけをしよう」
- 2年：国語 「新聞から知っている漢字をさがそう」
- 3年：図工 「私のお気に入りの写真をかざろう」
社会 「私の町の記事を集めよう」
- 4年：国語 「新聞の中にある語句を使ってみよう」
- 5年：国語 「日本語について調べよう」
- 6年：国語 「興味のある新聞記事の要点をまとめ、自分の考えを発表しよう」

2年目は、新聞を取り入れた授業を年間教育計画に明記し、単元目標に到達するための NIE、時事的に取り入れる NIE、継続的な NIE（朝の会での記事紹介の発表、スクラップ等）と各学年の発達段階に応じた取り組みを目指した。また、教員の入れ替わりもあったので、引き続き公認アドバイザーの兼松力先生の理論・実践研修とともに、NIE 全国大会に参加した教員による伝達報告を共通理解しながら NIE 実践を深めた。

今年度の各学年の実践報告は次の通りである。

※指導工夫改善（算数）での実践を通して

算数で学習したことが生活にもいかせることを実感させることで、学習意欲と、活用力の向上を図って、算数学習にも NIE を取り入れて実践した。

5年の算数学習で一番定着が難しく、学習内容が生活に密着している単元「割合」において、新聞記事や新聞広告を使った NIE 実践を行ったところ、それまでなげに触れていた生活の中の割合に気づき、学習の楽しさを実感させることができた。



←新聞・チラシから生活につなげた学習

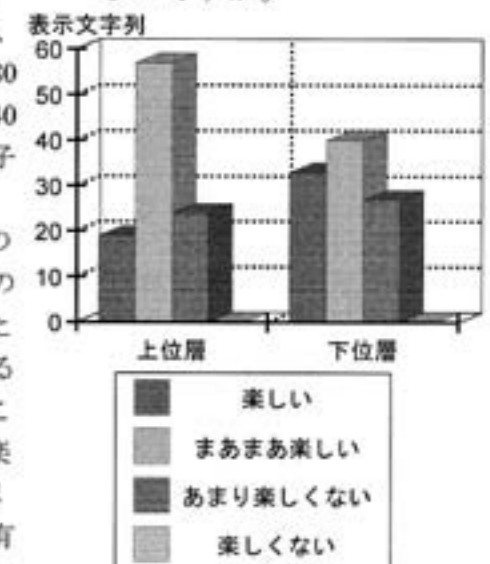
感想より

割合を使うとお得に買い物ができることを初めて知りました。消費税10%はみんなの幸せのためならしかたがないけど、ちゃんと使って欲しいです。

一年間を通した算数学習に関するアンケートで Q. 新聞を使った算数の学習は楽しいですか。

新聞を活用した算数学習について聞いたところ、上位層（単元到達率80%以上）が楽しい：19%、まあまあ楽しい：57%、下位層（単元到達率80%以下）が楽しい：33%、まあまあ楽しい：40%と、どちらも7割となっているが、下位層の子達の楽しい割合が高い結果となっている。

理由として、上位層が「気づかなかった情報の見方がわかるから」「身近な新聞から算数するのが楽しい」とあげたのに対し、下位層は「習ったことを使うのが楽しい」「いろいろと読み取れるのが楽しい」とあげていた。上位層は「読む」ことを、下位層は「学習したことを使う」ことを楽しいとしている。NIE は、基礎基本の定着を確認の上でも、活用力を培う上でも一指導法として有効と思われる。



3. 成果と課題

今年度の実践では、2年間の成果として、これまでの実践を整理し、各学年の発達段階に応じた、各教科に渡る NIE を行うことができた。そして、これらの実践により、児童が社会の情報に関心を寄せるようになり、自分の意見や考えをもつことができるようになってきた。また、児童自ら、家庭学習として、新聞記事のスクラップをして自分の考えを書いたり、玄関前や学年掲示板の NIE コーナーに見入ったりする姿が多く見られるようになり、表現力やコミュニケーション能力が育ってきていると感じている。

今後の課題としては、これまでに積み上げてきた2年間の実践が継続できるように、学習指導における新聞活用の手立てをさらに工夫していきたい。

	楽しい	まあまあ楽しい	あまり楽しくない	楽しくない
上位層	19	57	24	0
下位層	33	40	27	0

1年の実践

取り組み内容

①単元目標に到達するためのNIE

単元名 メモをつかってしようかいしよう

単元目標 メモを用いて、紹介したいことを簡潔な文章で書くことができる。

本時の目標 書いた文章を読み直し、カルタを完成させて楽しく遊ぶことができる。

指導観 これまで、児童は説明文の学習で、写真と文を結びつけながら、内容を読み取ってきた。また、紹介したいことを短い言葉でメモに書くことも学んできた。

ここでは、今まで学習してきたことを活かし、写真から読み取ったことや感じたことをメモにまとめさせ、短文に表現させたいと考えた。

授業の流れ



週末にやる自主学習の例として、「新聞スクラップをやろう」と呼びかけ、やってきている子がいる。興味のある記事をがんばりノートに貼り、その感想を書いたり、はじめて分かったことを書いたりして、まとめてきている。

また、記事に出てくる言葉の意味を調べたりするなどの発展学習を行う子もいる。



第2学年の実践

1 取り組み内容

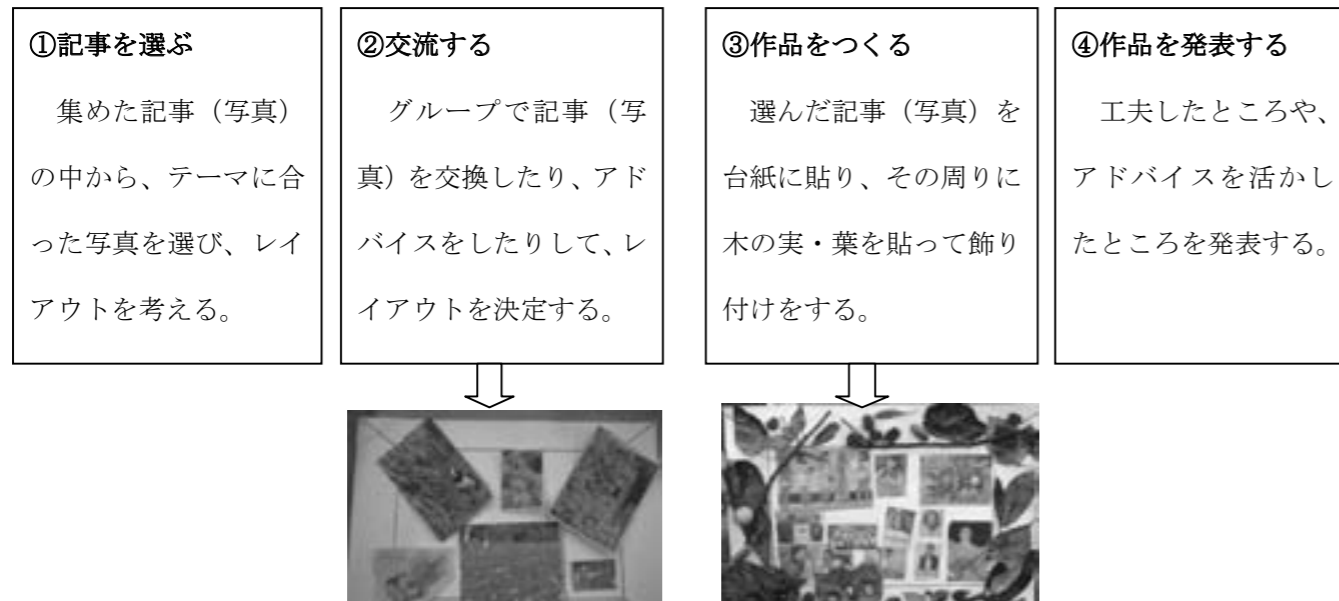
①単元目標に到達するためのNIE

- ・新聞の記事(写真・絵)を使うことで、新聞に興味をもち、親しめるようにした。自分が決めたテーマ(秋・笑顔・スポーツ・沖縄など)に合った記事(写真・絵)を集め、その中から気に入った物を選び、台紙に貼り、生活科の「秋をみつけよう」で集めた木の実や葉などを飾って作品を作った。

教材名 あつめて かざって たからもの(11月)

目標 新聞から集めたお気に入りの写真や絵を使って、自分なりの表し方を見つけ楽しく作品を作ることができる。

授業の流れ



②継続的なNIE

- ・新聞コーナーを設け、係活動の一環として子ども新聞(ワラビー・りゅうPON)を掲示し、紹介している。
- その記事に対して、一言感想(付箋紙)を書いて貼る。
- ・家庭学習に新聞記事をスクラップして感想や自分の考えを書いている。



2 成果・課題

成果

- ・新聞に興味・関心を持つようになってきた。
- ・気になった記事を持ってきて発表したり、家庭学習に記事についての感想を書いたりする子が出てきた。

課題

- ・新聞を購読していない家庭もあり、思うように記事を集めることができなかった。

3年の実践

1. 取り組み内容

①単元目標に到達するためのNIE

11月単元「漢字の組み立て(一)」では、「へん」「つくり」などの漢字の構成についての知識を得、漢字を正しく読んだり書いたりする学習をした。その発展として、新聞の記事に書かれた数多くの文章から自分が調べたい特定の「へん」や「つくり」の漢字を見つけ、ワークシートに書き写させた。新聞には多くの漢字が使われていることに気づくとともに、今後の漢字学習や漢字辞典の活用に興味を持って取り組むようになった。

本時の教材名

「漢字の組み立て(一)」

本時の目標

「へん」や「つくり」などの漢字の構成について理解し、漢字への興味・関心を高める。

実施方法

- ①自分が調べたい「へん」や「つくり」を選ぶ。
- ②自分で選んだ「へん」や「つくり」の漢字を新聞から見つける。
- ③見つけた漢字を赤ペンで印をし、ワークシートに書き写す。
- ④見つけた漢字を発表しよう。

【児童のワークシート】



【お父さんと仲良く漢字見つけ】



【見つけた漢字を発表しよう】



2. 成果・課題

成果

- ・新聞には多くの漢字が使われていることに気づくとともに、今後の漢字学習や漢字辞典の活用に興味を持って取り組むようになった。
- ・新聞を使った授業の後、日記に使う漢字の数が増えた。
- ・新聞を開ききっかけになり、家庭学習でスクラップを始める児童が出てきた。

課題

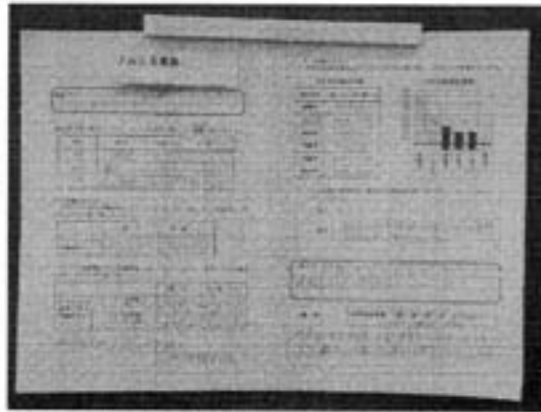
- ・教科に挿入する際の時数の確保
- ・新聞に対する興味・関心を家庭でどう持続させるか。

4年の実践

(1) 授業実践 11月公開授業実施

①国語「漢字の広場⑥ 熟語の意味(1)」
新聞の見出しから既習の漢字を見つけ、それらを再構成し熟語作りをする。

②算数「よみとる算数(1)」
新聞記事の数多くの資料から、必要な情報を読み取り、問題を解いていく。



(2) その他の授業での取り組み例
①国語「学級新聞を作る」「新聞の見出し付け」
②算数「概数」「ごみのゆくえ」
③社会「ごみのゆくえ」

(3) 時事的に取り入れたNIE
朝の会、道徳の時間等を利用し、その時期、時節に関する記事、話題を提供した。
例：「世界のウチナーンチュ大会」「東日本大震災」「四季折々の話題」

(4) 継続的なNIE
①朝の活動や宿題等での取り組み

☆四コマ漫画の並び替えや吹き出しへの台詞入れ
・あらかじめ順番をばらばらにしておいた四コマ漫画の並び替え
・吹き出しへの台詞入れ
☆「新聞記事を読もう」
・記事を読んだ感想を書く。
・新聞記事を読んで質問に答える。
・友だちと意見交換をして感想を書く。



②学年掲示板上に「NIEコーナー」を設置
新聞に関するコンクールの呼びかけ、新聞記事の紹介、学習に関する記事の紹介、各種コンクールの結果発表などの掲示を行った。

5年の実践

取組内容

(1) 授業実践 11月公開授業

①算数「読み取る算数」
新聞記事の中にある複数の資料から必要な情報を選択し、内容を読み取り問題を解いていく。

①道徳
動物愛護に関する記事から生き物に対する関わり方や飼い主のモラルについて考えさせる。



(2) その他の授業実践

③算数「割合」
新聞の折り込みチラシを使い、そこにある商品の割引率から実際の値段を求める。

(3) その他の取り組み

- ①宿題等に新聞スクラップ取り入れ、新聞に興味関心をもたせる。
- ②新聞社主催の新聞スクラップコンテストに学年全体で取り組み、入賞者も多数。
- ③四コマ漫画の吹き出しへの台詞入れ。






6年の実践

1. 取り組み内容

単元名	意見文を書こう
単元目標	課題を見つけ伝えたい事柄を整理し、図や表を利用しながら意見文を書く。
本時の目標	新聞から興味関心のある記事を見つけ、それに対する自分の考えを自由に書き出し、内容を伝えることができる。
指導観	新聞を資料収集の手段にすることで「タイムリーな話題を提供すれば、社会に対する関心を持たせやすい」と考えた。

6年生では、児童一人一人が興味や関心のある新聞記事を選び、意見文を書くための情報を収集しスクラップにまとめる授業を実践した。記事を選んだ理由や記事の要約、感想を記入した上で、グループで意見交換をする。社会への関心を高めながら多様な意見があることを実感し、自らの考えを深め合った。

<p>1 新聞から興味や関心がある記事を選び、内容を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 大事なところにはマーカーで線を引きながら読む。・ 読めない漢字や分からない言葉は辞書で引いたり、人に聞いたりする。	
<p>2 記事を切り取りスクラップノートに貼る。</p>	
<p>3 ワークシートに記事を選んだ理由や「5W1H」を記入し、内容を要約して、感想を書かせる。</p>	

2. 成果・課題

成果

- ・ 新聞スクラップ活動を取り入れたことで、社会事象への興味・関心を持つことができた。また、記事に対する自分の意見や感想を書かせ発表させることで、さらに考えが深まり意見文を書く学習活動へ繋げることができた。

課題

- ・ 新聞スクラップ活動を継続して行きたいが、購読していない家庭の児童への手立てが課題である。